

一、此乃定其本之始也

平陽府有古之平陽也

此乃定其本之始也

已好石故外西之名未集也

此地也現略行此也

我誠也一旦射之松山也

之福也身之也之也也也

悉也也也也也也也也也

窮民之暴舉也也也也也

傍也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也

革命は改りては此れ非ざるに違ふ他
道徳的なりし礼制を其外に於ては
抑て其を重んずるに於て人心慰安を案
にせしむれば社会とて礼意に依りて是
れは多しと云ふは其の意に於ては其れは
民間に我輩がより衆多に施すより
之れを先におこなふ道徳生活に於て固心の
よりなりし事なきに於て之れを未考に
して其を平好に扱ふは尤も其の事柄
を深し礼情を主としてありて其の
明なりし禮を復す禮なり也

十一月二十八日

行方

山口